いるうひどもえん

0歳児4月主題「はじめまして」 1・2歳児「であう」 月のねがい

◎神さまからお預かりしている大切な存在として育まれる (0)

◎初めての場所や人とと出あう (0) ◎春のひざしや風に心地よさを感じる(0)

◎保育者の祈りや賛美を聞き、心地よさを感じる(1.2) ◎であいやつながりの中で安心して過ごす(1.2)

◎春の自然にであって喜ぶ(1.2)

月のねがい

〇保育者と祈り、賛美する中で見えない神さまを知る (3)

◎新しい生活の中で信頼できる人とつながっていく (3)

◎自分が大切にされていることを感じて安心する(3)

◎神さまの愛に包まれていることを感じながら、安心して新しい生活を始める(4.5) ◎であいへの期待、不安などありのままの姿が受け止められ、好きな遊び、場所、人を見つける(4.5) ◎身近な自然(草花、虫、種まきをするなど)を感じ、美しさ、おもしろさに気づく(4.5)



「わたしは よみがえりです。いのちです。」

WBCで侍ジャパンが見事優勝の栄冠に輝きました。二刀流大谷翱平選手をはじめ、選手一人ひ とりの活躍に私たちは感動を覚えました。それは国家の枠を超えて、世界に「野球」の素晴らしさを広めま した。準決勝後の会見で、栗山監督が放った「野球ってすげえな」という言葉の中にそれが集約されて いると思いました。

栗山監督は、不振の続いていた村上宗隆選手を使い続けました。「私は村上を信じる」と言った言 葉が印象に残りました。と同時に、信じるということは、とてもエネルギーのいる、骨の折れる心の作業でも あると思いました。けれども、だからこう、信じるということに価値があります。準決勝9回裏、打 きた村上選手のもとに城石コーチが近づきました。村上選手の脳裏には「バントか?」「代打か?」とい う思いがよぎったそうです。けれどもコーチが伝えたのは、監督の「思い切っていってこい!」という言葉でし た。すると、村上選手はスイッチが入り、見事センターオーバーの逆転ヒットを打ちました。監督が自 分のことを信じてくれたことを意気に感じ、その期待に応えたのです。

子どもたちにとって、親は最後まで自分のことを信じてくれる存在です。最後の砦です。成長する過程 で人間関係にもまれ、嫌な経験をしながらも、自分を信用してくれている親を支えに生き生きと前を向いて 歩けるようになります。信頼関係は人を大きが長させるエネルギーとなります。そして、そこに活気溢れる いのちが生まれます。

たい は、 「はなりはなりない。

## 4月の行事予定

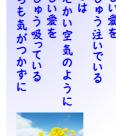
8日(土) 入園式・クラス会(親子で降園)

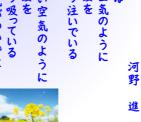
13日(木) 田植え(予定)

22日(土) 親子遠足,父母会総会





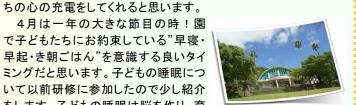




前期内科検診

家庭訪問 4 · 5 月 誕生会 フリー参観週間 15~19日 16日 (火) 交通安全教室 17日(水) 弁当日 不審者対応研修(休業依頼) 20日 (土)

> で子どもたちにお約束している"早寝・ 早起・き朝ごはん"を意識する良いタイ ミングだと思います。子どもの睡眠につ いて以前研修に参加したので少し紹介 をします。子どもの睡眠は脳を作り、育



て、守る大事な働きがあります。ただたくさん寝れば良いだけでな く、より良い眠りにはポイントがあります。①寝る時間(夜の7時か ら朝の7時)②眠りの持続時間(途中で起きることなく10時間程度 の夜間の睡眠時間)③眠りのリズム(入眠と起床の時間が一定)こ の3つのそろった良い生活リズムは、子どもは自分で体内時計を 作れないため、周りの大人が作ってあげなくてはなりません。太陽 の光をたっぷり浴びて身体を動かし、夜はぐっすり、朝はすっきり 目覚める(朝は自ら起きてくるのが望ましい!だそうです)。このリ ズムを少し意識して、生活習慣を整えて、一年間を元気いっぱい 過ごしていきましょう! 今年度もよろしくお願いします。 大河

広い園庭にはダンゴムシにてんとう虫、色とりどりの花が咲いて

春の訪れを感じます。子どもたちも花壇の石をひっくり返して、「い

4月になり新しいお友だちもたくさん加わり、小さいクラスは涙、涙

の大合唱の中、慣らし保育初日を迎えました。抱っこされ、おやつ

を食べて少しずつ涙が止まる時間も見られるようになってきまし

た。在園のお友だちは一つずつ大きくなり、嬉しそうな表情の子、

照れ笑いを浮かべる子、ついつい前の保育室に走っていく子も・・・ だんだんと慣れて羽が生えたように自由に走り回って、先生たちと

追いかけっこしている姿がほほえましく思います。新しいクラスにな り、ちょっぴり背伸びもして緊張気味の子どもたちです。子どもたち

なりに新しい環境に慣れていこうと頑張っています。新しい環境で

お父さんやお母さんと離れる時は、しばらく登園を渋る子もいるこ

とと思いますが、元気に「いってらっしゃい」と見送ってあげてくださ

い。そして帰ったらぎゅ~と抱きしめてあげることが、一番子どもた

たいた!」とダンゴムシ探しに夢中です。







よりの









子どもたちは神さまから命を与えられ、 愛されているかけがえのない存在です。 その個性と人格をありのまま受け止め、 尊重することが第一歩です。 信頼関係を築くなかで、 子ども自身が自分を信じ、 自分らしい歩みをはじめることが出来る

> ☆知りたい、やってみたい!! 子どもが夢中になって、生き生きと遊ぶ事 は"生きる力"に繋がります。工夫したり、

## 令和5年度新学期がスタートしました!

私たちが保育の中で大切にしたいもの

### ☆一人ひとりを大切に

ように、絶えず応援したいと思います。

悩んだり、納得するまで繰り返す中で、思 考力や騒動力そして、"意志"が育まれま す。好奇心や探究心を大切に受け止め、子 どもと共に心を動かしていきたいと願って

### ☆友だちっていいな!

友だちと遊ぶなかで、子どもは自分と他者の違いを知って いきます。たくさんのぶつかり合いや葛藤を通して、悩み 考え、やがて理解し合い、"共に生きる"ことを学んでいき ます。認め合い、力を合わせることの楽しさ、喜びを味わ うまでの道筋を大切にしたいと思います。

# ☆神さまの恵みを知り、世界に目を向ける

自然の美しさや不思議さに気づき、 その恵みに感謝する心を育みます。

けれども、世界に目を向けるとき、現実には人と自然との 関係や、国と国との関係に多くの課題があります。

人と自然との調和、世界の平和に、私たちがどう貢献でき るのか、共に考え、祈り、やがて行動できる人になりたい と願います。

この花のように 美しい心を 神さまください 小さなわたしにも この花のように 人々を愛せる 心を下さい 小さなわたしにも

幼児賛美歌Ⅱより

℃こまち面れたりも経込に

NZIDCERIDE ARBOCENIE ARBOC